

## 1. 目的

「車椅子シーティング研究」は日本シーティング・コンサルタント協会の会誌として、椅子・車椅子シーティングに関する学術的情報公開の場を提供し、椅子・車椅子シーティングの発展に貢献することを目的とする。

## 2. 投稿記事の種類

原著、症例報告、報告（技術報告・臨床実践・その他）、総説・解説、その他編集委員会で掲載を承認されたものとする。投稿原稿は未発表の和文・英文とする。

- 1) 原著：新規性および独自性があり、明確な結論が示された論文。
- 2) 症例報告：症例の治療および経過等が論理的に提示され、考察された報告。
- 3) 報告（技術報告・臨床実践・その他）：椅子・車椅子シーティングの研究・教育・臨床における新規性や特色のある取り組みについて、その内容が具体的かつ客観的に情報が提示された報告。
- 4) 総説・解説：あるテーマに関する学説や現行の理解の状態が要約、解説された原稿。編集委員会からの依頼原稿を原則とする。

## 3. 投稿者の資格

本誌は本会会員に加え非会員からの投稿も受け付ける。本会会員の掲載料は無料とする。筆頭著者が非会員の場合、共著者の中に本会会員が1名以上含まれる必要がある。著者全員が非会員の場合、別途掲載料20,000円を著者負担とする。著者は筆頭著者を含めて5名までとする。

## 4. 原稿

- 1) 表紙はMicrosoft Wordを用いてA4縦の用紙に24字×30行横書きで、本文とは別のファイルとして作成する。表紙には、投稿記事の種類、論文題名（和文・英文）、キーワード（和文・英文ともに3語以内）、著者氏名（和文・英文、著者の資格を示すもの、例としてPhD、PT等）、所属（和文・英文）、投稿責任者（Corresponding author）の連絡先（氏名、住所、E-mail address）、原稿の枚数、図表の枚数を記載する。
- 2) 本文はMicrosoft Wordを用いてA4縦の用紙に24字×30行横書きで作成する。原著は論文題名、要旨を含めて16000字以内とし、図表は10枚以内とする。症例報告、報告は論文題名、要旨を含めて12000字以内とし、図表は5枚以内とする。総説・解説は、依頼時に規定する。図表は、目安として1枚400字相当とする。
- 3) 表紙と本文のファイルには頁番号をつける。各頁の左端に、第1頁1行目から連続した行番号を付ける。
- 4) 論文データは、表紙、和文要旨（400字以内）、本文、文献、図表の説明（キャプション）の順に整える。図表は下記に定めるように別ファイルとする。原著は英文要旨（250語程度）を必須とする。和文、英文とも要旨は構造化する。
- 5) 常用漢字、ひらがな、現代かなづかいを用い、文献、人名、薬品名、生物学名等は原語を用いる。文中の句点は「、」読点は「。」を使用する。
- 6) 英数文字や記号は半角とし、原則として特殊文字は使用しない。ただし、特殊文字で表記せざるをえないものについては、表記文字とその表記場所を記載したリスト（1部）を添付し、提出する原稿にもその表記場所を朱字でマークする。
- 7) 図表はMicrosoft Power Point, Microsoft Word, Microsoft Excelのいずれかで作成し、1ファイルにまとめる。図表ファイルの容量は、10MBまでとする。図・写真の最低解像度は、1つあたり300dpiとする。
- 8) 論文題名には商品名を含めない。文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、登録商標名のあとに社名を括弧書きして表記する。登録商標であることの記号表示（®、TM等）は表示しないこととする。

- 9) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用順に通し番号をつけ、本文の最後に「文献」として引用順に列挙する。番号には右片カッコを付し、本文中の引用箇所の上肩に記す。これらの番号、カッコには半角文字を用いること。
- 10) 引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初～最終）の順に書き、単行本の場合は著者氏名、題名・章題等、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載する。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を記載する。ウェブサイトの場合は、作成者、ウェブページの題名、URL、引用年月日を記載する。

(雑誌の場合)

- 1) Brienza DM, Karg P: Seat cushion optimization: a comparison of interface pressure and tissue stiffness characteristics for spinal cord injured and elderly patients. Arch Phys Med Rehabil, 1998;79: pp388-394.
- 2) 木之瀬隆, 廣瀬秀行: 高齢者の車いす座位能力分類と座位保持装置, Rehabilitation Engineering, 1998; 13: pp4-12

(単行本の場合)

- 3) Reswick JB, Rogers JE: Experience at rancho amigos hospital with devices and techniques to prevent pressure sores. Kenedi RM, Cowden JM, Scales (eds) University Park Press, Baltimore, 1976, pp301-310.
- 4) 河合俊宏: 補装具. 障害者のシーティング. 廣瀬秀行, 清宮清美 (編). 三輪書店, 東京, 2014, pp8-9.

(ホームページの場合)

- 5) United States Department of Justice: Guide to Disability Rights Laws. Available from: <https://www.ada.gov/resources/disability-rights-guide> [cited 2023 Aug 20]
- 6) 内閣府 令和4年版 障害者白書 全文 (PDF版). <https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r04hakusho/zenbun/index-pdf.html> (2023年8月20日引用)

## 5. 倫理

人を対象とした研究の論文では、ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意等の倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。また、原則として厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の医学研究に関する指針に従うこと。原則として所属機関の倫理委員会あるいはこれに準じるものの承認を受けること。その場合は承認番号または承認年月日を論文中に記載すること。

## 6. 利益相反

著者全員について、企業等との利害関係の有無（利益相反）を本文末に明記し、筆頭著者が代表して別紙「利益相反に関する開示書」に署名し投稿の際に提出すること。なお、利益相反があるという事だけで論文の掲載が拒絶されることはない。

記載例

利益相反なし。

利益相反あり。本試験に使用した機材△△は株式会社〇〇から提供を受けた。

※利益相反がある場合は企業・団体名も記載すること。

## 7. 投稿手続

投稿原稿、PDF ファイルに付した承諾確認書（著者全員の承諾を示す自署による署名）及び利益相反（Conflict of interest）に関する開示書をメールに添付し、編集委員会（[toukou@seating-consultants.org](mailto:toukou@seating-consultants.org)）宛に送付する。承諾確認書は筆頭著者ならびに共著者すべての自署を必須とするが、疾病等を理由として自署が困難な著者においてはこの限りではない。各共著者が個別に承諾確認書（論文題名、日付、自分以外の著者名が手書きもしくはワードプロセッサ等で記入されたもの）を作成、自署のうえ、筆頭著者が複数枚の承諾確認書を取りまとめて提出することも可能とする。

#### 8. 引用・転載の許諾について

他著作物から図表等を引用・転載する場合は、著作権保護のため原出版社および原著者の許諾が必要である。引用・転載を行う場合は投稿者があらかじめ許諾を得て、その旨を図表の題名、説明に続けて明記すること。

#### 9. 原稿の採択

原稿の採否は、複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求めることがある。修正を求められた場合は指定された期限内に修正稿を再提出すること。提出期限を超過した場合は新規投稿論文として扱われる。

#### 10. その他

- 掲載された論文等の著作権は日本シーティング・コンサルタント協会に属する
- 掲載料はカラーページを除き、すべて本協会の負担とする。カラーページは印刷料を著者負担とする。ただし編集委員会が認めた場合はこの限りではない
- 掲載された原稿は PDF 形式で筆頭著者に配布される

車椅子シーティング研究 編集委員会

〒115-0045

東京都北区赤羽 1-59-8 ヒノデビル 4F S-10

特定非営利活動法人 日本シーティング・コンサルタント協会内

E-mail : [toukou@seating-consultants.org](mailto:toukou@seating-consultants.org)